駐車禁止

間瀬トンネル～海水浴場

7月15日～8月15日まで

『一箱のたばこがかける夢の橋』

年々増加の消費税

私達の村の昭和四十三年度決算見込による、自主財源の税収入総額は五千七百五三万一千円です。

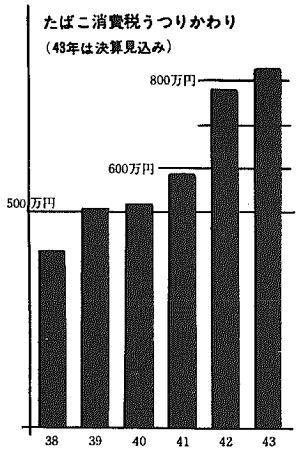
そのうち、たばこ消費税として八百二九万七千円が村に入ってきます。これは村民の皆さんが、たばこ一本吸うと約五七銭が村の収入になります。

昨年度は村民一人当り平均一、六〇〇本以上もたしなんだことになります。

たばこ消費税はたばこを買った町村に還元されます。あなたが他の村で二〇本入れのたばこを買いますと十一円のお金が、その村に還元されるわけです。

お出かけの際岩室村のたばこ屋さんで買うならば、十一円は、岩室村の収入となり学校や道路整備がなされます。そして住民の皆さんの住民税の税率の引き下げの一因ともなってきます。

お出かけの際は、村のたばこ屋さんから買ってでかけましょう。



あまりにもひどいイタズラ

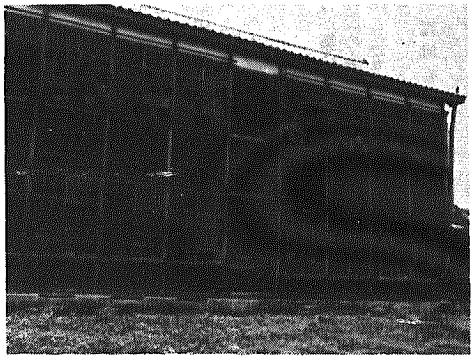
旧西小校舎――窓ガラスはコナゴナに

公共建物の損傷程度をみると、「その村民の知識を知ることができる」バロメータであると言われているが、最近村内各所の公共施設が荒らされている。

これら一部のイタズラ村民に善良な村民は眉をくもらせている。

「温泉病院」建設予定地とされている、旧岩室西校舎の窓ガラスは、ほとんど全部コナゴナに破られている。

このようなイタズラは、やめて下さい。



ゲバ学生も顔負けするような投石でやぶられた西校舎の窓ガラス

テントを貸し出します―公民館

山に海に、若人の唄声がひびく、野外活動のシーズンです。自然のふところに抱かれて過すキャンプ生活は、若人の魅力の的でしょう。

公民館では、次の要領でキャンプ用テントを貸出します。希望者は早目に申込んで大いに利用して下さい

1所有数　5人用　5張

2貸出期間　7月～8月

3貸出の手順

①申込用紙を公民館へ請求する。

②責任者が計画内容を記入する。

③学生生徒の場合は、学校の許可を受ける。

④申込書を公民館へ提出し承認を受ける。

⑤先着順に使用を許可するので、期日その他に変更を指示されることがある

⑥貸出し返納の時間について指示を受ける。

6使用料は無料である。

駐車場も拡張、峠も改修

―海水浴誘致　25万人以上目ざす―

越後七浦海岸のトップを切り間瀬海水浴場の海開きを十七日行なった。

式は村当局、議会、浜茶屋業者、交通関係者が出席海難事故の皆無と安全発展を祈った。ことしは昨シーズンを上まわる二五万～三〇万人誘致客をめざしている。

間瀬峠の改修整備もなされると共に、駐車場も拡張整備し受け入れ態勢を進めている。

間瀬観光協会では八月三日海まつり、お盆には夜つり大会も計画している。

かあさん〝がんばれ〟

熱戦を展開　婦人バレー大会

県民スポーツの日を中心に村では各会場に大会が開らかれた。岩室中会場ではママさんが集まりバレーボール大会が、海では「海つり大会」と盛大に開らかれた。

婦人バレーボール大会

一位　間瀬チーム四戦全勝　二位　和北チーム　三勝一敗

三位　和南チーム　二勝二敗

四位　東部チーム

五位　西部チーム

海釣大会

大物賞　該当なし

重量賞　一位後藤高(岩室)　二位村井広之(岩室)

村内一周駅伝大会

村長杯　一位岩中篭球部　二位野球部A、知事杯　一位青年団C、二位青年団A

編集日誌

最近の村の話題はもっぱら角海浜に建設計画の原子力発電所。

私達も充分に、この計画に注目する必要があるのではなかろうか？

これからは、原子力の時代が訪れるのは必然であろう。この発電所の投入建設費は三百億から五百億円、発電量は、二百万キロワット以上と想像できないような数字、もし仮に完成したら、ぼう大な電力を利用した、工場を誘致し「日本海時代を迎える」新潟県も夢でないであろう。

観光岩室村の立場も大きく変るであろう。

建設資材運搬のため、三千トン級の船が出入する港が作られるであろう。

完成後、この港も用はなくなり、もっぱら佐渡を結ぶ船のラインに活用されるであろう。

スカイラインも佐渡を含む、変化に富んだ広域観光ルートもできるであろう？又、原子炉の冷却水に大量の海水が利用される。利用された海水は少なくても七度は温められ排水されるであろう。この温水を利用、農作物の促成栽培、冬期間成長の止まる魚もこの温水を利用し、これからは獲る水産業から作る水産と養殖が行なわれるであろう。しかし公害問題も起きてくるのではなかろうか。

私達も発電所の問題について勉強と村の政策について注目しよう。